

# 子どもや若者の成長を後押しする新たな取組み一覧

(本市独自(上乗せを含む)の事業で、H30の新規・拡充事業)

## 1 子どもや若者が知識を深め、自らを高める活動を応援する事業

(◎新規事業、○拡充事業)

(単位:千円)

事務事業名	担当課	事業概要	H30 予算額	拡充額	拡充額の内 一般財源	事業内容・事業量等
◎ 議会運営費 (若者や子ども向け議会 だよりの発行)	議会 事務局	子どもたちに市議会の活動を伝え、政治や議会への関心につなげ、近い将来、若者がまちづくりや国づくりに主体的に参画していくことを促すために、若者や子ども向け議会だよりを発行するもの	180	180	(180)	(1) 印刷部数 12,800部 (2) 配布方法 小学校5、6年生と中学生に学校を通して配布 (3) 発行回数 年1回 (4) 体裁 A4版、両面カラー
◎ 音楽文化ホール管理運営費 (ポジティブオルガンお披露目コンサート実行委員会負担金)	文化 振興課	ポジティブオルガン設置記念のお披露目コンサート事業費の一部を負担するもの(可搬式のため今後は保育園等への出前コンサート等に活用)	100	100	(0)	H29年度に音楽文化ホールに導入されたポジティブオルガンを使用した初めてのコンサートを、松本市、松本市教育委員会と松本市芸術文化振興財団による実行委員会により開催 【開催日時】 平成30年6月23日(土) 16時開演 【会場】 松本市音楽文化ホール メインホール 【内容】 ・仕組みがわかりやすい上に表現力を持ったオルガンの魅力紹介 ・ソロ、他の楽器とのアンサンブル、大オルガンとのアンサンブル 【当日の運営】 指定管理者である松本市芸術文化振興財団に運営を委託する
◎ 健康増進対策費 (中学生ピロリ菌検査)	健康 づくり課	将来の胃がん発症リスクの減少を図るため、市内在住の中学2年生に対するピロリ菌検査を新たに実施するもの	2,790	2,790	(2,790)	①学校健診の血液検査の機会を捉えて、希望者に対してピロリ菌の一次検査を実施 ②一次検査陽性者に対し、指定医療機関において二次検査を実施 ③二次検査陽性者に対して、除菌治療の必要性や手順等を文書により説明(検査代自己負担)
◎ 消費者行政活性化事業費 (若年層向け啓発冊子の作成)	市民 相談課	若者の消費者被害減少、未然防止を図るため、啓発用冊子「賢い消費者になるために」の若年層向けを作成するもの	420	420	(0)	・消費者教育冊子の作成 作成数3,000冊 利用方法 中学校3年生に配布 出前教室の教材
◎ 小鳥と小動物の森管理費 〔小鳥と小動物の森大規模改修事業〕	公園 緑地課	動物の生きる姿を間近に見て、命や自然環境を大切にすることを養い、未来を担う人材の育成につなげるもの(基本構想の策定)	6,280	6,280	(6,280)	・H30年度に基本構想策定を設計コンサル業者に業務委託する。内容は、リニューアルに向けた計画策定や現地調査及び測量等を行う。 ・利用者の意見を取り入れるためのアンケートを行い、意見要望を基本構想に反映させる。
○ 平和推進事業費 (松本ユース平和ネットワーク)	平和 推進課	平和学習、平和発信活動を通じた市内大学生等による平和推進活動を実施するもの(平和学習の充実、参加者枠の拡大)	910	530	(450)	・社会人の参加などメンバーの拡大と、学習・啓発活動の推進を図るもの ・長崎市平和訪問参加者の拡大(4名→8名) ・有識者による講演会の開催 1回 ・留学生との意見交換会の開催 1回 ・小中学校出前授業の実施 4校
○ 地域づくり推進事業費 〔地域づくりインターンシップ戦略事業〕	地域 づくり課	松本大学と連携し、地元志向を持った若者を地域づくりを担う人材として育成するとともに、地域での企業や就職を支援するもの(事業期間の延長)	35,880	15,440	(15,440)	・H29年度 11地区で11名の若者が活動中(1期3年) ・当初計画 1~3期生 H27年度~H31年度までを1~5期生 H27年度~H33年度まで事業期間を延長 ・インターンの活動内容 (1)サードプレイス下町会館「カフェあげつち」の運営 (2)松本市における着地型観光の立案 (3)学芸員資格を生かした鎌田地区のお宝発掘事業 (4)規格外の農産物の有効活用 (5)四賀地区のこれからを考えるワークショップ (6)奈川ものくらしを語る会開催 (7)できることまちよりワークショップの開催 (8)栄養士資格を活かした、食育・子育て支援事業の実施
○ スポーツ振興事業費 〔松本市各種競技会、発表会等出場者祝金交付事業〕	スポーツ 推進課	ブロック大会以上のスポーツ競技会に出場する市民に対して、祝金を交付するもの(交付対象の拡大、各大会出場祝金単価の引き上げ及び小中学生への交通費加算の廃止等)	4,600	0	(0)	・スポーツの振興及び芸術文化活動の促進を図るため、ブロック大会以上の競技会、発表会等へ出場する市民に対して交付している祝金の要綱を、出場者各人への祝金交付という趣旨を強めて出場者のモチベーションを更に高め、文化スポーツの更なる振興に繋げるよう見直しを行い交付するもの 【要綱改正】平成30年4月1日予定
○ プロスポーツ振興事業費 〔地域交流活動促進事業〕	スポーツ 推進課	子どもたちがプロスポーツに「親しむ」「みる」機会を創出するもの(信州プレイブウォリアーズ関連事業を追加)	970	390	(390)	・松本山雅FCの集客力・求心力を活かし、「みるスポーツ」等による地域振興や中心市街地への誘客等につなげ、地域活性化の推進を図るもの 【拡充】地域交流活動促進事業に信州プレイブウォリアーズを活用した事業を追加
○ 子どもの権利推進事業	子ども 育成課	子どもの権利に関する条例に基づき、すべての子どもにやさしいまちづくりをめざし、子どもの相談・救済制度の充実、子どもの権利の普及・啓発及び意見表明や参加の促進を図るため、必要な事業を進めるもの	7,440	2,940	(2,940)	・H31年度の「子どもにやさしいまちづくり推進計画」見直しに伴い、市内小・中・高校生及び保護者へのアンケート調査を実施するための臨時職員の増員 →1名増対象: (1)小学校5年生1クラス743人 (2)中学校2学年1クラス512人 (3)高校1、2年生893人 (1)~(3)の保護者 ・推進計画の見直しに向けて、計画の評価・検証を行う「子どもにやさしいまちづくり委員会」の開催回数を増加するもの(4回→6回) ・子どもの権利擁護委員のスキルアップと先進都市との情報交換を図るため、全国自治体シンポジウムへ参加するもの(0名→1名)
○ 交通及び災害遺児等福祉金給付事業費	子ども 福祉課	交通事故又は災害事故により父又は母を失った遺児等の福祉の増進に寄与するため福祉金を給付するもの(支給対象の見直し、一時金の支給)	1,580	200	(0)	1 認定時に支給する福祉金交付対象を元居(1世帯1人) 2 小・中学校入学時、中学校卒業時に給付する一時金(10万円)を新設

事務事業名	担当課	事業概要	H30 予算額	拡充額	拡充額の内 一般財源	事業内容・事業量等												
○ 子どもの未来応援事業費	こども福祉課	子どもの権利条約に基づき、子どもの居場所づくり事業(子ども食堂)や三世交代流食堂事業を支援するため、運営費を助成するもの(交付金対象事業の統合)	1,590	0	(0)	1 庁内推進会議の開催 年1回 2 子どもの居場所づく交付団体 募集と交付決定。 3 子どもの居場所づくり交付金団体の連絡会議の開催年1回 4 子どもの居場所づくり事業の報告会の実施 年1回												
○ 食育推進事業費(新生活応援レシピ集の配布)	健康づくり課	第3期松本市食育推進計画に基づき、市民のさらなる食育の推進を図るもの(新生活応援レシピ集の配布対象を拡大)	370	190	(190)	多くの生徒が給食がなくなり、弁当持参の生活になる中学卒業生や、一人暮らしなどにより自炊をする機会が増える高校卒業生、新社会人及び二十歳を迎えた大学生に新生活応援レシピ集を配布し、自立した食生活を送ることを支援												
○ 自殺予防対策事業費(出前講座の実施)	健康づくり課	松本市自殺予防対策推進計画に基づき、自殺者数の減少に取り組むもの(出前講座の追加、パンフレット作成)	1,250	550	(0)	小・中学校、保護者、教職員向けの出前講座の開催、高校、大学等への出前講座パンフレットを作成 平成30年度から、子ども・若者世代への対策として、SOSの出し方に関する教育として小中学校への出前講座をモデル実施												
○ 環境基本計画推進事業費(園児を対象とした環境教育事業)	環境政策課	幼児期から環境意識を高めるため、園児を対象とした参加型環境教育を実施するもの(啓発用絵本の作成)	3,970	1,950	(1,950)	・食品ロス削減啓発用絵本の原作を公募し、広く食品ロスについて考える機会とするもの ・応募作品中最優秀賞の原作を元に、絵本を700部作成し、幼児への継続的な環境意識啓発に繋げるもの												
○ 親子農業体験教室事業費	農政課	食や農への関心を高め、農業を応援する人たちを増やすため、親子を対象に農業栽培指導等を受けながら複数の農作物を栽培、収穫、加工する体験教室を開催するもの(実施要件の緩和)	1,500	0	(0)	1 プロポーザル方式により受入団体を募集し、採択となった団体が主体となり、市内各地区で、市民等を対象とした農業体験、加工体験等を実施するもの(開催期間：5月から翌年3月までの間で受入団体が定めた期間) (1) 受入団体要件緩和 延べ16回 → 延べ5回以上 駐車場・トイレ等設置→任意 貸農地の設置→任意 (2) 募集組数 1 団体当たり15組程度 (3) 開催数 月2回程度(延べ16回) → 延べ5回以上で団体毎設定												
○ 農畜産物マーケティング推進事業費(地産地消・食育推進補助金)	農政課	食や農への関心を高め、農産物の地産地消を進めるため、保育園、小学校等の子どもたちを対象に農業者、農業団体等が実施する農業体験、加工体験等に対し補助金を交付するもの(補助上限額の上乗せ)	2,300	500	(250)	1 農業団体等の実施主体に対し、体験に関わる経費を支援するとともに、学校給食への食材提供をサポートする (1) 実施主体 13団体程度 (2) 参加対象 幼児保育園児、小学生、中学生 あ(3) 補助上限額(1団体当たり) H30～補助上限額50万円 (20万円増額)												
○ 産業創発支援事業費(ICT活用地域産業振興事業)	商工課	ICT人材の育成を通じて、ICTを活用した「しごと」の環境を整え、活力のあるまちの創出を目指すもの(新組織による業務開始、拠点施設整備)	30,110	-	-	・コワーキングスペースなどの機能を有した拠点施設の整備 ・拠点施設のサテライトオフィスへの企業誘致 ・地域企業が望むICTが活用できる人材育成 ・働きたい人が望む多様な就労形態を可能にする新たな働き方の浸透 ・小中学生など若年層に向けたICT教育の充実												
○ 交通安全対策費(スクエアドストリート実施事業)	交通安全・都市交通課	交通事故現場を再現した交通安全教室を実施し、リアルな体験することで、危険行為を未然に防ぎ、交通ルールを順守することの大切さを実感させるもの(実施回数の拡大)	1,690	560	(560)	・自転車に関連した交通事故を減少させるために、事故の約3割を占める高校生への対策が急務であることから、交通事故を再現し、恐怖を実感することでそれにつながる危険行為を未然に防ぎ、交通ルールを遵守することの大切さを体感させるスクエアドストリートを交通安全教室に取り入れて実施するもの。  ～H29 2回/年実施 ↓ H30～ 3回/年実施  ・実施回数の増により、市内高校に通学する生徒は、在学中に最低でも1回は、スクエアドストリート交通安全教室が受講できることとなった。  ■H30実施予定 <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>松本市立高野中学校</td><td>1～3年生</td></tr> <tr><td>松本市立高野高等学校</td><td>1～3年生</td></tr> <tr><td>松本市立高野中学校</td><td>1～3年生</td></tr> <tr><td>松本市立高野中学校</td><td>1年生(特別)</td></tr> <tr><td>松本市立高野中学校</td><td>1年生(特別)</td></tr> <tr><td>松本市立高野中学校</td><td>1年生(特別)</td></tr> </table> 対象生徒数 約2,300人	松本市立高野中学校	1～3年生	松本市立高野高等学校	1～3年生	松本市立高野中学校	1～3年生	松本市立高野中学校	1年生(特別)	松本市立高野中学校	1年生(特別)	松本市立高野中学校	1年生(特別)
松本市立高野中学校	1～3年生																	
松本市立高野高等学校	1～3年生																	
松本市立高野中学校	1～3年生																	
松本市立高野中学校	1年生(特別)																	
松本市立高野中学校	1年生(特別)																	
松本市立高野中学校	1年生(特別)																	
○ 青少年ホーム事業費(人件費を含む)	生涯学習課	15歳以上35歳未満の若者が集まる居場所づくりと学び直し支援の実施に向けた研究を進めるもの(コーディネーターの配置)	1,390	250	(250)	・各種事業の活性化や若者支援など、今後の青少年ホームの運営を円滑に行うため、運営委員会の開催回数を増やすもの。 (1) 運営委員会開催回数 1回→2回  ・コーディネーターを配置し、「マイスターカレッジ」「引きこもり者支援」「学び直し支援」に向けた研究準備を進める。そのため、先ずはイベント企画運営に長けたコーディネーターにより、若者が集まる「居場所づくり」を進める。 (1) コーディネーター 3人 (2) 居場所作り事業 (3) コーディネーター調整会議												
○ 教育文化センター管理費(宇宙関連企画事業)	教育政策課	子どもたちの宇宙への関心を高めるため、天文講演会、JAXA見学ツアー及びロズミックカレッジを開催するもの(科学教育プログラムの追加)	590	100	(100)													
21事業			105,910	33,370	(31,770)													

※拡充額欄の「0」は予算の増額を伴わないもの、「-」は増額はするが子ども・若者分を算出できないもの

## 2 子どもや若者の育ちや学びの場を整備し、環境を改善する事業

(◎新規事業、○拡充事業)

(単位：千円)

事務事業名	担当課	事業概要	H30 予算額	拡充額	拡充額の内 一般財源	事業内容・事業量等
◎ 保育所管理運営費 (空調設備借上料) 幼稚園管理運営費 (空調設備借上料)	保育課	全保育園及び幼稚園の3歳以上児室及び事務室に、P P P方式で3年間でエアコンを整備するもの 【債務負担行為】 限度額 231,250千円 期間 H30～43	0	0	(0)	
◎ 学校教育情報化推進計画策定事業費	学校教育課	I C T機器を効果的に活用することで、質の高い教育環境を実現するため、学校教育情報化推進計画を策定するもの	5,490	5,490	(5,490)	情報化推進計画の策定
◎ 特別支援教育推進費 【インクルーシブ教育推進事業】	学校指導課	障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みをつくるため、(仮称)松本市特別支援教育推進協議会を設置し、松本市で導入可能な施策について検討するもの	290	290	(290)	
◎ 新科学館整備事業費 【新科学館整備事業】	教育政策課	教育文化センターを宇宙と科学に特化した新科学館として整備するため、施設の基本構想を策定するとともに、平成31年度までの2年間で基本設計を行うもの	23,820	23,820	(23,820)	
◎ 新科学館整備事業費 【プラネタリウム投影機器更新事業】	教育政策課	元宇式とデジタル式の統合型フネタリウムに更新し、児童生徒が利用可能な番組制作機能を追加するもの 【債務負担行為】 限度額 1,250千円 期間 H30～	1,250	1,250	(1,250)	
◎ 学校給食センター管理運営費 【給食のあり方研究会】	学校給食課	外部の学識経験者を交えた研究会において、今後の給食センターの役割、適正配置について検討し、新しい給食センターの整備計画を策定するもの	290	290	(290)	
○ 放課後児童クラブ整備事業費	子ども育成課	留守家庭対策事業を実施する専用施設として放課後児童クラブ室を整備するもの (梓川児童センターへのクラブ室の増築)	30,420	30,420	(13,780)	梓川地区の放課後児童健全育成事業利用者が急増し、施設の狭小化が進んでいるため、放課児童専用室を増築するもの。 1 場所 梓川児童センター 2 構造 鉄骨造平屋建 3 面積 109㎡ (既存567㎡内、放課後児童の専用面積287㎡、増築後全体面積676㎡、専用面積396㎡) 4 スケジュール H29：設計 H30：建築、供用開始 5 経過 H17：新築 H25：クラブ室増築
○ 人件費・一般管理費 (学校図書館司書)	学校教育課	市が学校図書館司書を雇用し、学校図書館の円滑な運用を図るもの(司書有資格者の増員)	69,050	2,750	(2,750)	・H30年度 学校司書44人中、司書資格者31人(全体の70パーセント)
○ 英語指導助手配置事業費 【A L T配置事業】	学校指導課	小中学校に英語の指導助手を配置するもの (小学校3・4年生へのA L T新規配置)	60,450	4,450	(4,450)	
○ 一般管理費 【ピアノ調律事業】 (小学校費+中学校費)	学校教育課	ピアノを年1回調律し、教育環境の充実を図るもの (小中学校の全ピアノを対象)	2,840	730	(730)	調律台数 ・小学校：105台 ・中学校：72台
○ 遠距離児童通学費	学校教育課	要綱に基づき、遠距離通学の児童に対し、通学費の扶助を行うもの(スクールバス、スクールタクシー、地域バス、路線バス、電車等)	65,780	5,140	(5,140)	H30年度 該当者在籍校 ・小学校 8校 ・中学校 7校
○ 学校営繕費 (小学校費)	学校教育課	学校施設の営繕と保守を行うもの(アルウィン芝生の再利用に伴う、開闢小グラウンドの芝生維持管理費の増加)	71,370	260	(260)	学校施設の営繕と保守を行う。
○ 授業用校用備品充実整備費 【教育情報化推進事業】 (小学校費+中学校費)	学校教育課	質の高い教育環境を実現するため、授業用I C T機器の整備を行うもの(回線速度の増、i P a dの配備等)	300,820	12,400	(12,400)	・回線速度の容量の引き上げ ・特別支援学級及び院内学級にiPadに整備 ・各学校へタブレットの増設
○ 授業用校用備品充実整備費 【理科用備品購入事業】 (小学校費+中学校費)	学校教育課	質の高い教育環境を実現するため、理科用備品の充実を図るもの(購入数の増)	20,810	18,150	(9,080)	小中学校で不足している理科備品の購入を行う。
○ 地震防災緊急事業費 (小学校費+中学校費)	学校教育課	教室等の非構造部材の耐震化を図るとともに、避難施設としての防災機能を強化するもの(対象19校の耐震化)	129,120	110,140	(14,420)	診断及び設計 ・小学校 1校 ・中学校 1校 耐震化工事 ・小学校 12校
○ 暖房機器更新事業費 (小学校費+中学校費)	学校教育課	計画的に暖房機を更新するもの(更新校数の増)	27,660	5,470	(5,470)	FF暖房機更新 ・源池小 48台 ・奈川小中 42台 ・旭町中 59台
○ プール整備事業費 (小学校費+中学校費)	学校教育課	プールの改修及び改築を行うもの(改築校数の増)	228,840	204,860	(53,030)	・並柳小 循環設備改修 ・信明中 循環設備改修 ・清水中 プール改築
○ 給食厨房設備更新事業費	学校給食課	学校給食の安定供給を図るため、厨房設備の更新を行うもの(東部給食センターの食器一斉更新他)	58,970	42,090	(42,090)	
○ 学校給食施設改修事業費	学校給食課	学校給食の安定供給を図るため、施設改修を行うもの(東部給食センターのボイラー増設他)	51,120	20,500	(20,500)	
		19事業	1,148,390	488,500	(215,240)	

### 3 子育て世代をサポートする事業

(◎新規事業、○拡充事業)

(単位：千円)

事務事業名	担当課	事業概要	H30 予算額	拡充額	拡充額の内 一般財源	事業内容・事業量等
◎ 児童福祉事務費 (パンフレット作成)	こども 育成課	松本市への移住促進を目的に、子育て支援策を紹介するパンフレットを作成するもの	360	360	(360)	本市の子育て支援策を紹介するパンフレットを作成し、窓口配布、移住促進等に活用している。H28年度に10,000部作成し、2年に1度作成する。
◎ 人件費 (保育コンシェルジュ)	保育課	新たに、保育コンシェルジュ(非常勤特別職)1名を保育課窓口に配置するもの	3,170	3,170	(3,170)	保育園に入れない保護者等の相談体制を強化するため、保育や子育てに詳しい保育コンシェルジュを配置するもの。
◎ 島内保育園増築事業費	保育課	増加する未満児の受け入れ需要に対応するため、既存園舎に未満児棟を増築するもの 【償負担行為】 限度額 21,630千円 期間 H30～31	0	0	(0)	待機児童対策の一環として、隣接地を取得し、未満児棟を増築するもの。 ・延床面積：約320㎡ ・構造等：鉄骨造平屋建て ・利用定員：48名(最大)
○ 福祉医療費給付事業費 (子育て支援医療扶助費)	こども 福祉課	乳幼児、児童、障害者、母子家庭の母子、父母のない児童及び父子家庭の父子の健康保持と福祉の増進を図るため、医療費を助成するもの(給付方法を償還払いから現物給付に変更)	531,020	0	(0)	15歳までの医療費助成の給付方法を現行の償還払いから現物給付に変更。これにより、医療機関の窓口で、受給者負担金500円を超えた分の医療費を支払う必要がなくなる。
○ 子育て支援センター運営 事業費 (子育てコンシェルジュ 人件費を含む)	こども 育成課	妊娠、出産から子育て期までの切れ目のない支援のため、子ども子育て安心ルームを設置するもの (設置箇所の拡大 2カ所→3カ所)	9,680	3,290	(1,110)	こどもプラザに「子ども子育て安心ルーム」を設置し、子育てコンシェルジュを配置している。子育て中の保護者の身近な場所で、寄り添いながら子育ての様々な相談、案内を行っているもの。 H28.10～ 子どもプラザ(筑摩) H29.4～ 小宮子どもプラザ H30.4～ 南郷子どもプラザ
○ 病児・病後児保育事業費	こども 育成課	病児：生後5カ月～小学3年生までの病中の児童を対象に、保護者の就労等の理由により医療機関において保育するもの 病後児：1歳～未就学の病後の児童を対象に、保護者の就労等の理由により子どもプラザ2館において保育するもの (病児保育施設の追加 2カ所→4カ所)	43,750	22,520	(7,520)	相澤病院と梓川診療所で実施している病児保育事業実施施設を増設するもの。国・県の補助を受けて、施設整備及び業務委託により実施する。 H20～ 相澤病院：定員4名 H23～ 梓川診療所：定員8名 H30.4～ 丸の内病院：定員10名 H30.6予定 まつもと医療センター：定員6名
○ 児童館管理運営費	こども 育成課	18歳未満の全ての子どもを対象に、遊び及び生活の援助と地域の子育て支援を行う児童館・児童センターの管理運営を行うもの(支援員の増員)	405,720	20,760	(6,920)	放課後児童健全育成事業の安定的な運営を目的に、支援員の適正配置を行うための増額をするもの。(委託料、人件費) 合計8名増員：島内+2、梓川+2、波田+1、あがた+1、芳川+1、山辺放課後クラブ+1
○ 保育所管理運営費 (臨時職員賃金)	保育課	公立保育園運営に係る事務費を支払うもの (保育事務補助者(短時間パート)の配置)	287,680	28,770	(28,770)	各園に保育業務補助者を配置し、保育士の業務負担軽減などの環境改善を図るもの。 ・園児数、保育士数に応じて、各園1～2名を配置
○ 少子化対策事業費	健康 づくり課	産後のケアや助産師の派遣等により、出産後の育児不安の解消を図るもの(支援内容の充実) 不妊・不育治療をしている夫婦に対して経済的負担の軽減を行うもの	47,330	3,420	(1,620)	【産後ケア事業】 平成30年度からの拡充分 ①産褥入院、産後ケアの利用期間延長 退院後30日→産後4か月 ②母乳・育児相談の利用助成券交付 1,000円×3枚 【不妊・不育症治療助成事業】 治療にかかった医療費の自己負担額の一部を助成 ①補助率3分の2 上限額30万円 ②申請期間・回数 ・不妊治療 年度1回 5回まで ・不育症治療 一治療ごと治療が終了した年度に 申請5回まで
○ ごみ減量対策事業費 [松本キッズ・リユース ひろば事業]	環境 政策課	家庭で使用しなくなった子ども用品を回収し、希望する方へ無料配付するもの (配付会場への追加)	6,660	130	(130)	・年6回開催する配付会のうち1回を、子育て世代が多い南部地域で行うもの ・実施に当たっては、公共交通機関の便が良い南部体育館において休日に開催することし、ララ松本での配付会参加が難しい家庭の参加を促すもの
○ 要保護・準要保護児童就 学援助事業費	学校 教育課	経済的理由により就学が困難な家庭を対象に、教育費の一部を援助するもの (新入学用品費支給単価の増額、支給時期の前倒し)	133,500	15,020	(15,020)	・新入学用品費支給単価の増額 (H30年度新1年生から) ・新入学用品費支給時期の前倒し (H31年度新1年生から)
○ 特別支援教育就学奨励事 業費 (小学校費+中学校費)	学校 教育課	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するもの (新入学用品費支給単価の増額)	16,880	1,390	(690)	・国庫補助対象額の増に伴い新入学児童生徒学用品費を増額
12事業			1,485,750	98,830	(65,310)	

◎ 新規事業	14事業	44,440	44,440	(43,920)
○ 拡充事業	37事業	2,695,610	576,260	(268,400)
合計	52事業	2,740,050	620,700	(312,320)